

## 2013年3月期 第3四半期決算電話説明会 質疑応答

実施日：2013年1月30日(水)  
当社説明者：執行役員(経理部担当) 高橋 渉  
IRグループマネージャー 永田 雅人(司会)

以下は、決算電話説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

- Q1) 10月予想との比較における第4四半期への費用の時期ずれ10億円とはどのようなものか。
- A1) 販促活動費などの時期ずれとなっている。
- Q2) 来園者プロフィールについて、年代別や地域別で特徴的なことがあれば教えてほしい。
- A2) 年代別については、例年レベルに戻っており大きな変化はない。地域別については、首都圏・宿泊圏は例年レベルで大きな変化はない。海外は、震災前の2010年度と比べて7割～8割程度まで回復している。
- Q3) 足元の入園者数の状況はどうなっているのか。
- A3) 1月の入園者数は、東京ディズニーシー10周年の翌年であることなどから、前年と比較すると若干下回るものの、予想に対しては上回って順調に推移している。
- Q4) 第4四半期の営業利益はどの程度とみているのか。
- A4) 10月予想においては、テーマパーク事業は、東京ディズニーシー10周年の翌年であることなどにより、入園者数およびゲスト1人当たり売上高が減少する見込みとなっている。コストは、施設更新関連費が前期より増加するものの、テーマパーク固定経費・諸経費全体で見ると前期レベルとなる見込みである。また、ホテル事業において、ディズニーアンバサダーホテルの改修工事により、客室稼働率の減少や固定経費の増加を見込んでいる。
- Q5) 2013年度のイベントスケジュールは、補足資料に記載された内容でほぼ固まっていると考えていいか。この他にも発表される可能性はあるのか。
- A5) 現時点で確定しているものを記載しており、特に来年度の第4四半期については、追って発表する可能性もある。
- Q6) 次期中計の発表時期や内容は固まってきたか。
- A6) 発表時期は来年度後半、遅くとも2014年4月の決算発表までにはお伝えしたいと考えている。企業価値を高める投資をしていくことが前提であり、期待に応えたいと考えている。

以上